



桜台中通信 No.6

校訓「自主・敬愛・健康」



令和3年7月20日発行 校長 池内容子

◎「United by Emotion」 世界中の人々を感動でつなぐ力

今日で1学期が終わります。コロナの感染拡大で「蔓延防止」や「緊急事態宣言」でいろいろな活動が制限された中、修学旅行や臨海学校など宿泊を伴う行事や全体が集合するような行事が延期や簡素化されました。そんな中、みなさんはマスクや手洗いなど感染対策をしっかりとしながら、前向きによく頑張ってくれました。特にクラブ活動では、5、6月の試合がなくなり、ほとんど練習もできないまま最後の大会に臨む形になりました。それでも「3年間、一緒に頑張ってきた仲間たちと最高の思い出を作りたい」という想いを表明してそれぞれ全力を尽くしてくれています。

世界中でもコロナの影響で社会経済などさまざまな制約があり、困窮している方々がいて、日々身を削る思いでコロナに対応している医療従事者の方々がいるなど、賛否両論の中「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。昨日の新聞で日本選手団583選手が紹介されていました。無観客で開催されることになったこの大会に挑む選手の姿からは、きっと学べることや心を震わせる場面がたくさんあると思います。4年間努力するだけでも凄いことなのに、さらに1年延期されたこの大会はすべての選手が間違いなく大変な思いをしながら本番を迎えているはずです。世界レベルの戦いに挑む体力や精神力・技術力を維持することは並大抵のことではできません。中には、水泳の池江璃花子選手のように白血病という大病を乗り越えて代表に復帰した選手やバドミントンの桃田賢斗選手のように不慮の事故で重傷を負いながらも世界ランク1位に復活した選手もいます。

今回のオリンピックは「共生」をテーマに国籍や民族、人種、性別、文化、宗教、障がいの有無などスポーツを通して、壁の向こうを想像し、互いを認め合い、集まった人々が『エモーション(感動)』で繋がることをモットーとして開催されます。みなさんも世界200以上の国から参加する選手の姿を観

て、感じて、未来に向かうエネルギーをたくさん吸収してほしいです。

◎今日は「ゼロの日」です。生徒会活動「服装違反ゼロ」の取り組み

昨日の朝、正門で生徒会執行部のみなさんが月曜日のあいさつ運動をしながら「ゼロの日」の呼びかけをしてくださいました。7/13(火)には常盤地区・光明地区の民生委員の方が10名とPTAの補導委員・健康安全委員の方が3名朝のあいさつ運動をしてくださいました。



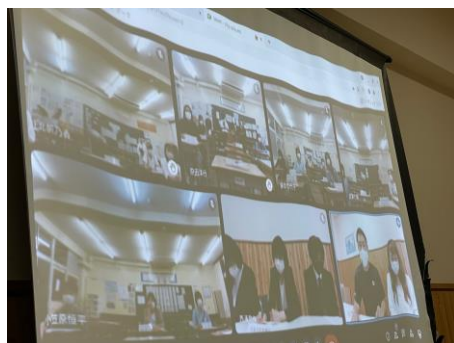
また、毎月第3火曜日更生保護女性会の方々が正門であいさつ運動をしてくれています。「おはようございます」と声を出して返してくれる生徒のみなさんがほとんどで、とても気持ちのいい朝の始まりです。

◎7月15日(木) 第1回学校協議会を開催しました。

地域の方5名にご参加いただき、学校協議会を開催しました。委嘱状をお渡しした後、本年度の教育計画や学校の現状、学校支援地域本部のことなど話し合いました。気になることとして、登下校時の交通安全や校区の公園や路上での大音量やスケボーなどの迷惑行為のことやコロナの感染拡大による今後の行事についてなどいろいろ心配していただきました。

◎6月16日(水) 第1回 PTA実行委員会 リモートで開催しました。

新役員・新実行委員さんによる第1回実行委員会を開催しました。緊急事態宣言下ということもあり、委員会ごとに部屋を分けて、タブレット端末と大型モニターを使ってリモート会議を行いました。ありがとうございました。



◎8月22日(日)9時～ PTA環境整備を行います。ご協力よろしくお願ひします。